

## 市長の退職金見直しを

6月14日の市議会本会議で、私は市長の退職金を見直すべきと、川岸市長に求めました。市長や特別職の給料などは、一般職員とはちがう条例で規定されています。とくに退職金は、一期4年ごとに支給となっていて、市長では1年につき5か月分、4年で20か月分、金額で2116万円となります。私は「一般職員なら一生勤めて受け取る金額を、たった4年で受けら

[ 特別職の退職金支給割合 ]

市 長	20ヶ月
助 役	14ヶ月
収 入 役	10.8月
教 育 長	10ヶ月
水 道 局 長	8.8月

れるのは不合理」と、市民常識から見て高額な退職金の見直しを提案しました。川岸市長は「議員から提案される前から見直しを考えていた」と答えましたが、どれくらい見直すかまでは述べませんでした。

## 入札の「希望価格」方式、一般工事にも適用

鈴鹿市は新庁舎工事の入札に、工事積算価格＝予定価格ではなしに、そこから10%引き下げて予定価格にする「工事希望価格」方式を初めて導入し、その結果10億円余の予算節約ができました。しかしこの方式は、「新庁舎工事に限る」として、市発注の工事全体には採用されていません。

一般質問で私は、依然として大きな工事の「高値落札」が続いていることから、予定価格から引き下げる「希望価格」方式を、鈴鹿市として正式採用することを求めました。

川岸市長は、「入札問題は財政問題でもある」との認識をしめし、希望価格方式を「年内にも導入する」と表明しました。当面は大きな工事を対象として「試行」していき、本格導入にすすんでいきます。

「希望価格」方式は「談合」防止の効果があり、また億単位での予算の節約にもなり、今後おおいに推進すべきです。

# 公民館の市民センター「一元化」は

職員、地域、市民の声を良く聞いて、結論をいそがずに

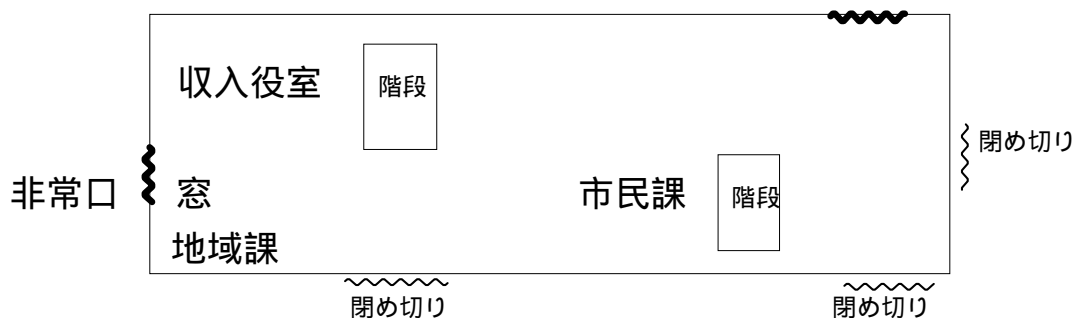
各地区の公民館が併設出張所と組織的に統合して「市民センター」とする「一元化」が行なわれて1年がたちます。その際、公民館の位置づけは変えないと言いながら、実際には公民館主事などの職員が減らされるなど、現場から困惑と不安の声が上がっています。

私は一般質問の中で、市民サービスが低下するような「一元化」を、来年4月にさらに進めるという計画はストップして、関係者の声を十分聞いて納得できる結論にすべきだと、ただしました。文化振興部長は、公民館長、主事、センター所長などで方向を検討する委員会を立ち上げ、その議論を尊重する、来年度という期限はきらない、と答えました。また13の単独公民館について、センターへの一元化をする段階にはない、再度検討したいと述べました。

私は「広い鈴鹿で、保健センターや子育て支援センターなどの事業も、各地域で広げていくことが必要で、その受け皿として公民館の役割はますます大きくなる」と、充実の方向への検討を求めました。

## 本庁舎に「非常口」が設置されます

新庁舎の建設工事のあおりで、いまの本庁舎の出入口が北の端1ヶ所しかなくなった問題を、私は委員会などでとりあげて、来庁者や職員などの逃げ道を作ることを求めてきました。このほど、庁舎建設室から解決策が示されました。庁舎の1階南側会議室の窓に、仮設の階段を取り付け、いざという時はそこから外に誘導するというものです。使用は2年足らずの期間で、金のかからない方法ですが、これで少し安心です。 西玄関



新 庁 舎 工 事 現 場

# 旭が丘小学校の給食、どうなるの？

## 給食室こわすのに、代わりの施設がない

6月15日の本会議で森川ヤスエ議員が、旭が丘小学校の全面改築にかかわって、給食はどうなるのかと質問しました。旭が丘小はいま自校方式で、調理室がありますが、改築計画ではこれをなくしてセンター方式にする予定になっています。ところが、来年からの工事期間とその後の給食はどうなるのか、ハッキリしないのです。

小学校は、平成17、18年度で建て替えるが、仮設校舎を作るためにまず、先に給食室を撤去することから始める。

したがって17年度から小学校と幼稚園あわせて約1千食の給食を、別の所で作って運んでくる必要がある。

ところが、飯野給食センターは現在4千食を作っていて、あらたに1千食も増やす余裕はない。

またセンター自体も、たいへん古くなっているので平成17、18年度で建て替える予定で、完成すれば5千食の能力になる。

しかしセンター建て替えを来年着工としながら、まだ場所も決まっていない。センターが計画通り建設できるかは、今のところ不明である。

## いったい1千食を、どこから持ってくるのか？

以上のような事情をみると、来年から、そして工事後も、旭が丘小の給食はどこで作るのか分からない、と森川議員は説明を求めました。ところが山下教育長の答弁ははっきりせず、「鈴鹿市全体の余裕分を集めて」などと抽象的な言い方しかしません。また、給食問題検討委員会が、将来は鈴鹿市全体を3ヶ所のセンターにして自校方式をなくす方向を出したことにもふれましたが、その具体化はこれからという段階で、当面の方針は何も示しませんでした。

その後、杉本信之議員が、センター建て替えにはいま検討を進めている中学校の給食も入れるべき、と質問しましたが、教育長は「センターの計画には中学校は入らない」、別々に検討すると答えるだけでした。6月いっぱい退任を表明した山下教育長では、責任ある答弁はできないのでしょうか。給食問題の解決は、次の教育長の初仕事になるようです。

ずいそう

## 賢い市民はだまされない

「何かおかしいな」と思っている、よく分からないまま過ぎている疑問がたくさんある。私の場合、たとえば仙台市へ行った時、名物の「牛タン」を食べながら、「こんなに牛タン＝舌が多く出ているが、残りの牛の『本体』はどこに行くのか？」周りの人に聞いても、だれも分からなかった。

この長年の疑問が、やっと先日解決した。ニュースで「BSE問題で、アメリカから材料が入らずに、仙台の牛タンが危機」と報道しているのを見たからである。仙台名物も、仕入先はほとんどアメリカだった！なーんだ、吉野家と同じだったのか、アメリカなら牛の舌も山ほどあるだろう。「本体」の行き先の心配まですることなかったな。

### 世界の重大事まで、いいかげんな理屈では

こんな話は、まだ笑い話で済まされるが、ブッシュがイラクを侵略した理由「大量破壊兵器」がなかったことなどは、「まちがえました」では済まされるものではない。何万人もの市民が殺され、日本もアメリカの言いなりに自衛隊を派兵している、というように事態が進んでいるからである。世界の最大の問題が、いいかげんなウソから始まっているという事実。万人が疑問を持っているのに、まともな答えもなく袋小路へつき進んでいく政治。

小泉首相が北朝鮮に行って、金正日を説得したというセリフを、自慢げに披露していた。「核兵器を持つことによる利益は微々たるもの、核を持たないことによる利益の方がずっと大きい」。小泉さんよ、そんな信念を本当に持っているなら、その立派なセリフをブッシュになぜ言わないのか？核兵器を世界一持っているアメリカに、何も言えない情けない被爆国日本の代表。世界から信用されないのは当然である。

BSE問題では日本政府は、珍しく「国益」を守ってアメリカ牛肉輸入を押さえている。「国民世論」が、いいかげんな解決は許さないぞと監視しているのを、政府がよく知っているからである。しかし、イラク派兵や年金改悪、消費税増税、憲法や教育基本法改悪などを平気で進めようとしているのは、まだ国民をうまくだませると高をくくっているからだ。参議院選挙では、この大ウソを見破り、ウソつき政党・政治家に審判を下そうではないか。